

「1950年代教育史」研究部会（第55回）

日時：2021年5月28日（金）13:00～15:30

場所：オンライン（Zoom使用）

出席：米田俊彦・大島宏・須田将司・鳥居和代・西山伸 各兼任研究員

吉久知延所長・金沢千秋・山口和人・川上智子（野間教育研究所事務局）

内容：（1）米田研究員：紀要「序章 1950年代教育史研究の意義と課題」（再）

◆前回の序章原稿への加筆報告：

- ・各事象についての先行研究を紹介
→こぼれた研究書について、指摘のあったものをいくつか追加する
- ・各事象の構造図について
→事象の区分を訂正、図の中にないパターンについては文章で追加する
他、表記の統一・誤表記の訂正など

（2）鳥居研究員：紀要「第3章第3節の加筆修正および第4節『九十九里浜沿岸における長期欠席の子どもたちへの対応』1・2」

◆3節の加筆修正：

補導学級と夜間中学の違い、教育映画については「補論」へ
→設置が認められなかった夜間中学との違いはもう少し詳細

◆4節「九十九里浜沿岸における長期欠席の子どもたちへの対応」：

- ・米軍基地問題：騒音・道徳的影響に対する陳情書の提出
- ・九十九里の漁業の歴史・漁村の生活（片貝町・蓮沼町）
- ・学校の対応：豊海中の長欠対策計画（実態は分からず）
- ・補論 基地と周辺の関係

同じく基地のあった木更津との違い／漁業不振と基地について

（3）9月の原稿締切に向けて研究会の進め方：

7月までは現在と同じ2名の発表、以降は各原稿の進み具合によることとする